



第194号

(発行所)

真宗大谷派

松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30

TEL (052) 411-5301

FAX (052) 411-5341

<E-mail>

matsuoka@kosanji.or.jp

不幸をつくる

春は花粉の季節だからイヤだ。

夏は温暖化のせいで猛暑が多くてイヤだ。

秋は何か寂しい気持ちが出てイヤだ。

冬は寒くて風邪ひいたりするからイヤだ。

朝は眠いからイヤだ。

昼はいろいろと忙しいからイヤだ。

夜はもう寝るだけだからイヤだ。

こうやってイヤだイヤだと思いつつ送ってきた人

生、何かもったいなくないですか。自ら不幸を作りながら生きているようなものです。

イヤだいや

だと言つてい

るうちに年月

はものすごい

スピードで流

れて、そのう

ちあの時は若

かったからよ

かったと、あ

とになつて後

悔するだけで

す。



春季彼岸永代経での法話

廣讚寺春季彼岸永代経参加者の声

有り難さ

釋 綽智

いつものことですが春のお彼岸の頃は天気が変わりやすいです。三月二十日は朝から強い西風で霰（あられ）が降っていました。甲子園の高校野球とアメリカ大リーグのドジャースとパドレスが韓国での試合がテレビでやっていて、つついお寺で彼岸会があることを忘れてしまいました。住職から電話をもらい大慌てで自転車で行きましたが、途中に霰（あられ）が袖（そで）にあたってパリパリとはねる寒い悪天候でしたが、すべりこみセーフ。本堂は満席でお勤めが始まるどころでした。

阿弥陀経と正信偈のお勤めが終わり、前田健雄師の法話をいただきました。私の心にとどまったことをお伝えいたします。

「中道（ちゅうどう）」について語られました。これ

は精神（こころ）と物質（財貨）に分けて人間との関わりかたを問うことですが、たいへん迷うところでは。



お釈迦様は迷っても、きつと納得のいくような道が必ずあると言われたそうです。ちなみに最近、NHKラジオで国別幸福観の違いが報道されたのを早朝に聞きましたが、フィンランド、デンマーク、スウェーデンが上位で日本は五十一位でした。何を指標にするか難しい問題です。

お葬式についても語られました。五濁にまみれた私たちの最期のお別れが葬儀です。此岸（しがん）から彼岸へ送ることですが、このごろは家でやることより葬儀屋におまかせで粗末に済まそうとしないか懸念されています。故人とは長い間、苦楽を共にしてきたのに、先祖やその人とのつながりを蔑ろ（ないがしろ）にはしてはいませんかと諭されました。見に

つまされる思いがいたしました。
本堂の中心で参り、阿弥陀様の本願に生かされている有り難さに心より感謝の十念。なむあみだぶつ。なむあみだぶつ。

自分をみなおす時間

釋 直入

三月二十日（春分の日）に彼岸永代経が行われました。今回の講師は廣讚寺に16年前から毎年（コロナ中は数回中止）来ていただいている前田健雄先生。
講義テーマは彼岸。ユーモアを交えた巧みなトークで参加者をひきつける話しぶりは回を追うごとにバージョンアップ。

彼岸とはあの世、浄土であり触ることのできない精神、こころの世界。対して此岸（しがん）は現代を生きる私たちが五感で感じている世界。お釈迦様の教えでは彼岸と此岸をつなぐのが宗教。お経を通じて考え

ていきましょう。

今だけ、金だけ、自分さえ良ければよい世の中になってしまっている。物理的な欲求を求めるばかりでなく、精神的な心の豊かさという幸福感を求めることが必要だと。その中であなたは何を求めて生きているのかと問われました。この世に生まれてきてありがとう。ありがとうを繰り返すことで心豊かな精神となると述べられました。

ロシア・ウクライナ、イスラエル・パレスチナ、円安、物価高など世界中が混沌、混迷を極める時代になり、人と人とのつながりが薄くなってきた昨今、お寺とは仏教を聞く場であると同時に、人が集まり、人と出会い、人がつながる大切な場所になっています。

尊い教えに出会っていながら、人として生まれたことの意味や生きる喜びを見いだせぬままですが、彼岸永代経の講義を聞き、先祖を想い、教えを受け、自らの人生を見つめなおす大切な時間をいただきました。

みつばち

アインシュタインはミツバチが絶滅したら人類は4年で絶滅すると予言していたそうです。

はちみつが食べられなくなると人類は絶滅してしまうのか。そういう理由ではありません。植物はオシベとメシベで花粉を受粉して実をつけています。その受粉を手助けしているのがミツバチで、それは野菜であったり果物であったり、我々人間が食べる植物の育成に欠かせない存在となっているのです。ミツバチが絶滅したら食糧危機、そして人類滅亡というわけです。

今、地球温暖化のせいでこのミツバチが減少傾向にあるそうです。この点から見つめても人類の滅亡はそんなに遠くないかもしれません。



行事予定

五月二十八日(火) 十時 親鸞聖人ご命日のお勤め

同朋会例会

(同朋会地区委員は十五分前に集合)

【20組 行事予定】

六月二十九日(土) 午後二時 同朋大会

「私達は どう生きるか」

講師 仏典童話作家 渡邊愛子氏

場所 東別院